



【八幡川の生きもの調査】

令和3年7月17日（土）9：30～16：00

場 所：八幡川下流域

南三陸町自然環境活用センター

スタッフ：株式会社エコリス

南三陸ネイチャーセンター友の会

志津川淡水漁業組合

アマタ株式会社

南三陸町役場環境対策課

南三陸町自然環境活用センター



「何の調査をしたの？」

志津川高校自然科学部による八幡川の生きもの調査に参加しました。高い堤防が作られた八幡川の下流域で、高校生の先輩と一緒に虫や魚を採りました。また、将太博士のレクチャーにより、環境DNA調査用の川水の採取も行いました。午後には、自然環境活用センターの実験室で、採取した川水から環境DNAをろ過する作業と、採ってきた生きものの種同定作業（種類別に分けた生きもの名前を調べて数を数える）も行いました。



川の生きもの採取



生きもの観察



DNA ろ過作業



種同定作業

「DNA って何？」

DNA は、人の目では直接見えませんが、横のイラストのようにグルグルとした二重螺旋（らせん）の形をしていて、生物の遺伝子情報を親から子へと伝える物質です。DNA を調べると、個人の識別や生きものの種類の判定などができます。今回の調査の場合、生きものの排泄物、はがれ落ちた皮ふやウロコなどから放出された DNA を、川水からろ過して、どんな生きものが八幡川に住んでいるのかを調査機関に調べてもらいます。ちなみに、調査結果が分かるのは 12 月ごろになるそうです。



「どんな生きものが採れたの？」

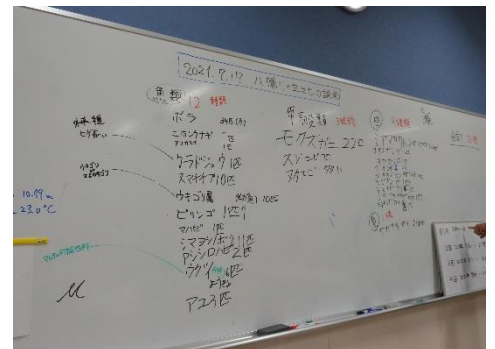
〈魚〉ウキゴリ属の幼魚、カラドジョウ（外来種）、アユ、☆ニホンウナギ（幼魚）、シマヨシノボリ、ヌマチチブ、ウグイ、ボラ、ヌマガレイ、ビリンゴ、マハゼ、アシシロハゼ

〈エビ・カニ〉スジエビ、ヌマエビ属、モズクガニ

〈虫〉コオニヤンマ（幼虫）、ミヤマカクトンボ（幼虫）、コヤマトンボ（幼虫）、ヘビトンボ（幼虫）、ガガンボ、フタスジモンカゲロウ、ヒラタカゲロウの仲間、シマトビゲラの仲間、シロハラコカゲロウ

〈貝〉サカマキガイ、 合計 25 種でした。

名前の前に☆マークがある生きものは、絶滅危惧種です。



【調査隊の活動が、こどもエコクラブ全国事務局ホームページに掲載されます！】

南三陸少年少女自然調査隊の活動報告は、こどもエコクラブのホームページにその都度掲載されます。みなさんもぜひご覧ください。

<http://www.i-ecoclub.jp/ecoreport/list.php>

【次回の予定】 8月5日（木）：むつ市脇野沢小学校とのリモート交流会&海藻おしば

6月に行われた「ドルフィンウォッチング&交流・学習会」の活動で交流したむつ市の脇野沢小学校の生徒さんたちとリモート交流会をおこないます。脇野沢小学校のドルフィンクラブでの活動を聞いたり、みんなで一緒に海藻おしばづくりをしたりします。是非ご参加ください。

